

建築学専攻 取得可能な学位・卒業要件

修士課程

修業年限および修了に必要な修得単位数、取得可能な学位

修業年数：2年 / 取得可能な学位 修士（工学）

<建築スペースデザイン>

修了に必要な 修得単位数	専修科目（指導教員の科目） （総合設計演習ⅠA～ⅡB 各2単位）	8単位
	専修科目以外の授業科目 ※但し、他専攻・他研究科の授業科目は、8単位以内に限って修了単位と認定	22単位以上
	計	30単位以上

<建築環境デザイン、建築材料・構造デザイン、建築構造工学>

修了に必要な 修得単位数	専修科目（指導教員の科目） （特別演習・実験ⅠA～ⅡB 各2単位）	8単位
	専修科目以外の授業科目 ※但し、他専攻・他研究科の授業科目は、8単位以内に限って修了単位と認定	22単位以上
	計	30単位以上

履修方法

1. 学生は、2年以上在学し、次に定める方法により、30単位以上を修得しなければならない。

2. 授業科目の中から1部門を選定し、これを学生の専修科目とする。

<建築スペースデザイン>

専修科目（総合設計演習ⅠA～ⅡBの合計8単位）のほか、専修科目以外の授業科目（他専攻の授業科目・他研究科の授業科目を含む）の中から22単位以上を選択履修しなければならない。ただし、実践インターンシップについては、4単位以内に限って、修了単位として認める。

<建築環境デザイン、建築材料・構造デザイン、建築構造工学>

専修科目（特別演習・実験ⅠA～ⅡBの合計8単位）のほか、専修科目以外の授業科目（他専攻の授業科目・他研究科の授業科目を含む）の中から22単位以上を選択履修しなければならない。ただし、実践インターンシップについては、4単位以内に限って、修了単位として認める。

※1 1部門とは、建築スペースデザイン部門では、自分の指導教員が担当する「総合設計演習ⅠA～ⅡBの合計8単位」を指します。建築環境デザイン分野、建築材料・構造デザイン分野、建築構造工学分野では、自分の指導教員が担当する「特別演習・実験ⅠA～ⅡBの合計8単位」を指します。

※2 他専攻の授業科目・他研究科の授業科目については、8単位以内に限って、修了単位として認められます。

3. 専修科目を担当する教員を当該学生の指導教員とし、学生は、授業科目の選定、学位論文の作成その他研究一般について、その指導を受けるものとする。

4. 修士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

※総合設計演習Ⅰ、総合設計演習Ⅱの学年別に履修しなければならない最低の履修コマ数は以下のとおりです。

<建築スペースデザイン>

総合設計演習ⅠA（1年次開講）：前期1コマ、総合設計演習ⅠB（1年次開講）：後期1コマ

総合設計演習ⅡA（2年次開講）：前期1コマ、総合設計演習ⅡB（2年次開講）：後期1コマ

※特別演習・特別実験の学年別に履修しなければならない最低の履修コマ数は以下のとおりです。

<建築環境デザイン、建築材料・構造デザイン、建築構造工学>

特別演習・特別実験ⅠA（1年次開講）：前期1コマ、特別演習・特別実験ⅠB（1年次開講）：後期1コマ

特別演習・特別実験ⅡA（2年次開講）：前期1コマ、特別演習・特別実験ⅡB（2年次開講）：後期1コマ

学習成果にかかわる評価

	点数	評価
合格	100点～80点	A
	79点～70点	B

	点数	評価
	69点~60点	C
不合格	59点以下	F
認定		N